



新しい手術室 ハイブリッド手術室について

副院長 岡本 好司

ハイブリッド手術室は高度な画像撮影装置(CTやMR、血管造影装置)とその処理装置が同部屋に常設され、それらを使用して術中画像診断やガイド機能を利用しながらカテーテル手技と通常の手術手技を組み合わせたハイブリッド手術が可能な手術室のことです。

世界的にハイブリッド手術室の開設は広がっており、本邦も例外ではありません。この手術室の活用は他病院では大動脈疾患に対するステントグラフト挿入術や大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術、脊椎外科領域における低侵襲手術、脳血管内治療などの手技に活用されています。

当院ではそれに加え、当院の特色である災害外傷、救急医療領域で遭遇する多発外傷治療や、消化器外科疾患への応用も念頭に置き、通常のハイブリッド手術室では高価なので配置しない最高機能の血管造影装置と高機能のCTを常設し、その面積も大きめに設計したことです。この組み合わせと広さは現時点では本邦では稀有です。

ハイブリッド手術室を使用する利点は、入室後は他所へ移動することなく外科手術及び血管内治療を完遂できる点にあります。ハイブリッド手術室を象徴とした災害拠点病院としての診療の充実が今後の目標となるでしょう。

新任医師の 紹介



小児科

早野 駿佑

はやの しゅんすけ

今年度から、小児科の中でも、救急集中治療部に配属になりました。一人一人の子ども、家族や兄弟に一生懸命向き合っていきます。北九州の為に頑張りますので、よろしくお願いします。



小児科

松石 登志哉

まついし としや

患者様とご家族の健康と笑顔のため精一杯がんばります。どうぞ宜しくお願いします。

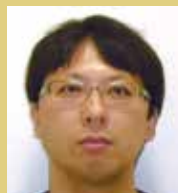


小児科

西山 和孝

にしやま かずたか

昨年度に約10年ぶりに北九州に戻ってきました。地域の救急・小児救急医療に少しでも役立つことができれば幸いです。よろしくお願いします。



小児科

岡畠 祥憲

おかはた よしのり

2018年10月から赴任致しました岡畠と申します。以前も当院小児科でお世話になっておりました。周辺地域の小児医療のために尽力して参ります。宜しくお願い致します。



外科

長尾 祐一

ながお ゆういち

4月より外科に赴任いたしました長尾祐一と申します。胃・大腸の腹腔鏡手術を中心にしてきました。皆様に最良の医療をご提供できるように、精一杯診療させていただきますのでよろしくお願いします。



臨床検査科

木村 聡

きむら さとし

昨年度より当院に新設されました臨床検査科に勤務しております。近年の検査技術の進歩は目覚ましいものがありますが、検査技師の方々と協力のもと、正確な情報を提供し臨床医療を支えていきたいと考えています。



脳神経外科

近藤 弘久

こんどう ひろひさ

4月から脳神経外科に赴任して来ました。出身は兵庫県です。脳卒中、頭部外傷まで気軽にご相談頂ければと思います。趣味はアウトドアや料理です。病院の裏には皿倉山があり、すごくながめが良いですね。海も近く魚がおいしいです。1年間の赴任予定ですが、宜しくお願いします。



循環器内科

石井 望務

いしい のぞむ

4月から循環器内科に赴任してきました石井といいます。よろしくお願いします。



整形外科

岡部 聡

おかべ さとし

新病院の移転とほぼ同時、今年の1月から整形外科主任部長として勤務しています。産医大卒。北九州市は大学勤務以来約22年ぶりに戻って？きました。専門は下肢関節、主に股関節疾患を治療してきました。気軽にご連絡下さい。



整形外科

目貫 邦隆

めぬき くにたか

16年ぶりに整形外科に赴任して参りました。手外科・骨粗鬆症を専門にしています。心新たに、迅速かつ丁寧な診療に努めて参りますので、何卒よろしく願いいたします。



整形外科

花石 源太郎

はないし げんたろう

みなさん初めまして。4月に産業医科大学病院から、当院整形外科へ赴任して参りました花石です。地域、患者さんのニーズに応えられるよう、頑張っで参りますので宜しくお願いします。



泌尿器科

武内 照生

たけうち あきお

今年4月から泌尿器科の医師が2人に増員になりました。また腎結石、尿管結石の治療に使用される結石破砕装置も最新機が1月から導入されました。今まで以上に患者様により良い医療が提供できるよう頑張りますので宜しくお願いします。



皮膚科

麻生 麻里子

あそう まりこ

はじめまして。この春から八幡病院皮膚科に赴任しました麻生麻里子と申します。患者様の目線にたって丁寧な診察治療を心がけています。お気軽に皮膚のトラブルをご相談ください。





食中毒にご注意を！



気温が高くなり始め、湿度も高くなる梅雨時には、細菌による食中毒が増えてきます。

細菌は、温度や湿度などの条件がそろえば食べ物の中で増殖し、その食べ物を食べることによって食中毒を引き起こします。食中毒を防ぐためには、細菌を食べ物に「付着させない」こと、食べ物に付いてしまった細菌を「増やさない」こと、食べ物や調理器具に付いた細菌を「死滅させる」ことが基本になります。

1. 細菌を食べ物に「付着させない」

手の雑菌を付けないように手洗いをし、まな板や包丁は生で食べる野菜などから使用するようにしましょう。また、食品を保管するときは密封したりラップをかけたりすると他の食品からの細菌の付着を防げます。

2. 食べ物に付いてしまった細菌を「増やさない」

細菌の多くは10℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。生鮮食品やお惣菜などは、なるべく早く冷蔵し、速やかに食べましょう。

3. 食べ物や調理器具に付いた細菌を「死滅させる」

ほとんどの細菌は加熱によって死滅します。特に肉料理は中心までよく加熱することが大切です。ふきんやまな板、包丁などの調理器具の殺菌も忘れずに行いましょう。

食中毒の一般的な症状は、下痢・腹痛・嘔吐・発熱などで、特有の症状というものはありません。食中毒かなと思ったら、自己判断でむやみに市販薬を服用せず、早めに医師の診断を受けましょう。



院内で働くスタッフの紹介バトンリレー！

スタッフ紹介



医事課

てる や たか ゆき
照屋 孝幸

Q1. どのような仕事をしていますか？

病院の収入に関する事務的な仕事をメインに行っています。

Q2. 頑張っていることはなんですか？

4月に八幡病院に来たばかりなので、まずは仕事を覚えるように頑張っています。

Q3. 趣味・特技は何ですか？

サッカー観戦やフットサルです。学生時代は、ソフトテニスもしていました。

Q4. 自分の性格は？

負けず嫌いだと思います。

Q5. これから挑戦したいことは？

ヨーロッパに行き、サッカー観戦をしてみたいと思っています。

Q6. 最近嬉しかったことは？

八幡病院で働くことが決まった時、色んな人から応援していただいたことです。

Q7. 今、困っている事は？

なかなか仕事を終わらせることができず、時間が足りなくて困っています。

Q8. 患者さんに何かひとことお願いします。

病院を気持ちよく利用して頂けるように頑張りますので、よろしくお願いします。



編集後記

今年度、また新しいメンバーでやれた病院ニュースを発行していくことになりました。皆様に親しんでいただける広報誌にしたいと思います。ご意見などございましたらお知らせください。

放射線技術課 満園 紫